

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



| | |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | ヒヤリ |
| 2. 体験した事例の名称 | 仮設訓練塔解体時、クランプを締めるラチェットレンチを落下させた事例 |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | ラチェットレンチにて上部よりクランプを外していくため、慎重に作業を行っていたが、季節的に猛暑日であった、また同じ作業が続いた事により落下させ、塔下で作業中の隊員の脇に落下した。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 高所での作業にも係らず、通常の作業と同様の保持及び操作であった。暑さ及び同じ作業が続いたことによる、落下危険に対する意識の低下。 |

【体験した事例の直接的な原因について】



| | |
|------------------|--|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | |
|------------------|--|

【体験した事例について】



| | |
|----------------------------------|--------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 19 年 7 月 27 日 午後 2 時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 晴 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外：救助技術訓練場 |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷した。 |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか） | 飛来・落下ぶつにぶつかる |
| 7. 事例体験時の活動 | その他： [] |
| 8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか | その他：仮設訓練塔解体時 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | これまでに1, 2回程度体験している。 |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|---|
| ○当事者A | 年齢[52]歳、勤続年数[33]年、現場経験年数[33]年、階級[消防司令]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [その他：分隊長] |
| ○当事者B | 年齢[22]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士]、同様の活動 [1年に数度]、任務 [隊員] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|----------------------|--------------|
| 経過1 | 当事者B | 塔上にてラチェットレンチを使用していた。 | ラチェットレンチを落とす |
| 経過2 | 当事者A | 塔下にて資材の搬送をしていた。 | 当事者Aの脇に落下する |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
 ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | はい |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | はい |

d. 心身の不調があった

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | はい |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | はい |
| ・暑かった（寒かった）。 | はい |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | はい |
| ・隊員が不足していた。 | はい |

○その他

l. その他の理由があった。

| |
|-----|
| いいえ |
|-----|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

仮設訓練塔配置図

